

よろず 支援拠点だより <55>

販路拡大のサポートにも対応

わかやま新報の読者の皆
さま、こんばんは。

開発をしました。

和歌山県よろず支援拠点
コーディネーターの吉妻で
す。よろず支援拠点では、
「販路拡大のお手伝い」にも
対応しております。今回は、
コロナウイルスの影響の中
で商品開発をされた(株)エム
テックさまについてご紹介
します。

同社は一般板金業の加工
業がメインで、コロナの打撃
を受けている業種のひとつ
です。コロナウイルスの影
響で危機的な状況の中、自
社の技術を生かして、社会
に役立てる商品が作れない
かと考え、お客様のアイ
デアもあって「自社商品」の

開発した商品は「足踏み
式消毒液ポンプボトル用ス
タンダ」です。この商品は、販
売先が既存の取引先と全く
違うので、「どうしようかと
知人に相談したところ、「よ
ろず支援拠点に相談してみ
たら?」と勧められ、当拠点
にお越しいただきました。

当拠点は、お客様を直
接紹介できる場所ではな
いのですが、出来るだけいろ
んなアイデア出してサポー
トしています。話を聞くと
足踏み式と従来の手押しボ
ンプの場合は、消毒してくれ
る率がかなり違うようで、
足踏み式の方がお客様と
店の双方に安心感を与える

ことが分かりました。また、
販売者の顔が見える店で購
入すると壊れた時も安心で
す。

そこで提案したのが「プレ
スリース」です。新聞や雑
誌などに広告を掲載する
と、広告料が必要ですが、
プレスリースはマスクミ
ニ記事を提供して、無料でニ
ュースとして取り上げても
らうという方法です。書き
方を簡単に説明すると、A

4サイズで1枚に収まるよ
う、タイトル・リード文・記
事・連絡先を記載します。こ
の際、商品の宣伝にならない
ように注意してください。
宣伝に偏ると、取り上げて
もらえないことがあります。
タイトルは、興味・関心を引
くものを考えて、さらに時
節の話題性のあるものと掛

和歌山県よろず支援拠点
和歌山市本町二丁目1番地
フルテワジマ6階
URL <https://yorozu-wakayama.jimdo.com/>
TEL 073・433・3100

